

転倒・転落 a.入院患者での転倒転落発生率

2.13%

測定値の定義・計算方法

Outcome 分子：入院中の患者に発生した転倒・転落件数

分母：入院患者延べ数（人日）

活動のきっかけ

入院治療に伴い環境が変化や、身体的、精神的・認知的にも変化し、転倒転落リスクが高くなる。患者安全では、転倒転落のリスクを低減し、治療検査に集中できるよう転倒転落予防対策は非常に重要である。

改善活動部門

- 安全管理室

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
<ul style="list-style-type: none">スマートベッドシステムや眠りスキャンの使用状況のデータを活用し、体動センサーの設置状況や、対応応需時間など、患者の転倒転落対策の状況や、転倒後の再発防止へ向けて分析内容を可視化し、カンファレンス等で活用を行った。転倒転落に関わる視点で安全管理部門チームにてラウンドし環境改善を図った。	<ul style="list-style-type: none">転倒、転落 事故を完全にゼロにすることは難しい。多職種チームの介入や、患者・家族へも協力頂きオリエンテーションを充実することも必要である。医療チーム（認知症ケアチーム、薬剤師、リハビリ職員）との連携強化となを測り、転倒に至った背景を含めて事例を丁寧に分析し、対策に活かせるよう実践していく。